

# 横浜市インフルエンザ流行情報 5 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

## 流行注意報が発令中です

### 【概況】

第 40 週(10 月 2 日～10 月 8 日)の定点あたりの患者報告数<sup>※1</sup>は、横浜市全体で **17.34** と、前週の 14.86<sup>※5</sup> から増加しました。

年齢別では、10 歳未満の報告が全体の 42.0%、15 歳未満の報告が全体の 70.4% を占めています。学級閉鎖等は、第 40 週にて 95 施設(保育所・幼稚園 2 施設、小学校 61 施設、中学校 26 施設、高等学校 4 施設、その他 2 施設)、患者数は 1,513 人です。

市内迅速診断キットの結果は、累計で **A 型 99.7%、B 型 0.2%、A・B 型ともに陽性 0.1%** と、A 型が多く検出されています。なお、全国のウイルス分離・検出状況<sup>※2</sup> では、A 型が多く検出されており、横浜市での検出状況も同様です。

今シーズンは、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されます。本格的な流行の前に、早めのワクチン接種を検討し、咳エチケットや正しい手洗い<sup>※3, ※4</sup> 等でインフルエンザを予防しましょう。

※1 定点あたりの患者報告数とは、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

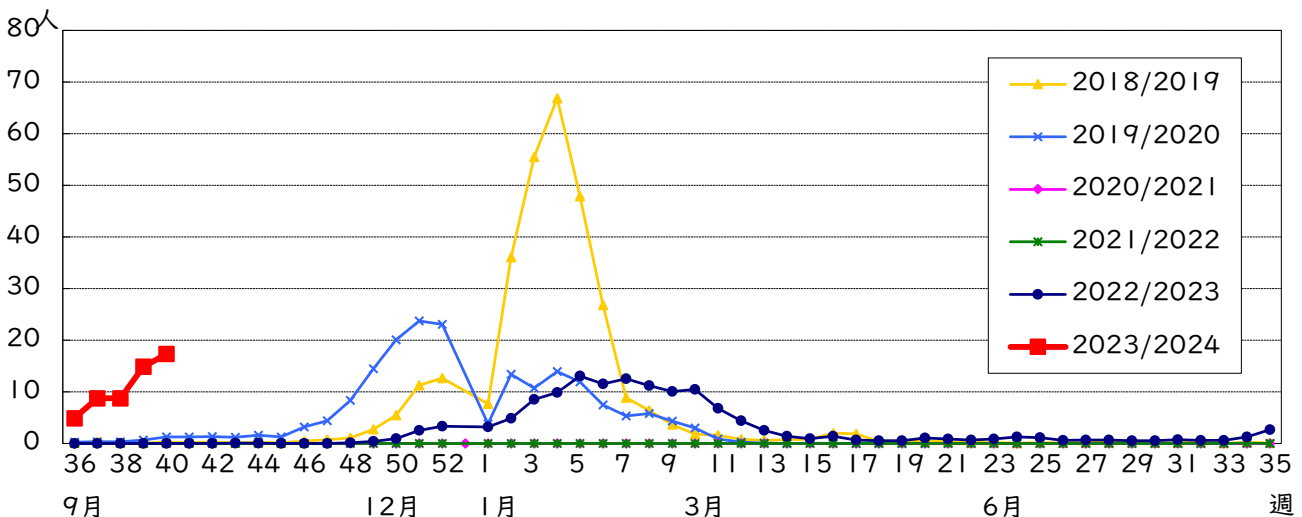
※2 [インフルエンザウイルス分離・検出速報\(国立感染症研究所\)](#)

※3 [横浜市保健所ホームページ](#)(「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください)

※4 [市民向けインフルエンザ予防チラシ\(横浜市\)](#)

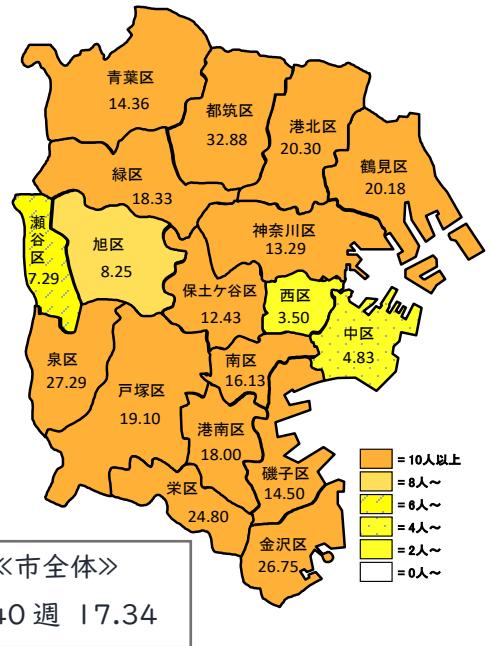
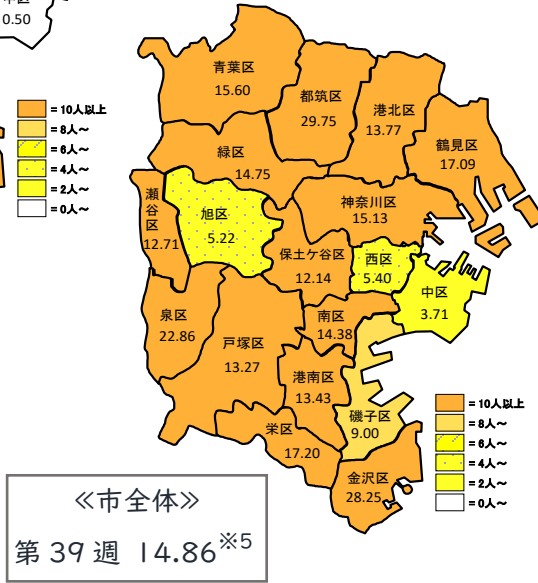
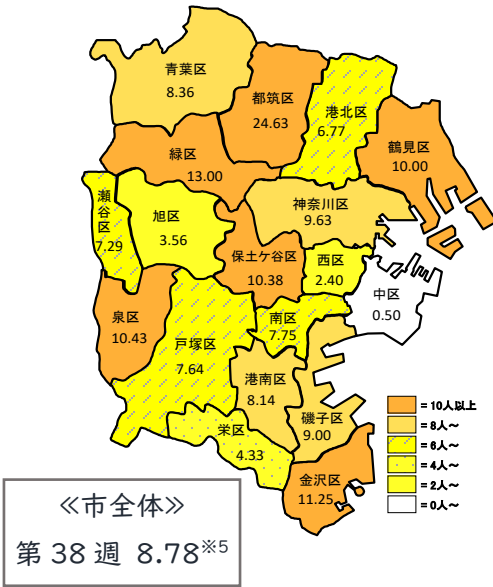
### 【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2023/2024 シーズン開始の第 36 週(4.91)以降増加が続き、第 39 週(14.86<sup>※5</sup>)に流行注意報発令基準値(定点あたり 10.00)を上回りました。第 40 週は 17.34 です。例年の同時期よりも、患者が多く発生しています。



地図で表した直近3週間の区別流行状況  
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

※5 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。



【参考】

直近流行(2022/23シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

第51週(2022年12月19日~12月25日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第5週(2023年1月30日~2月5日)

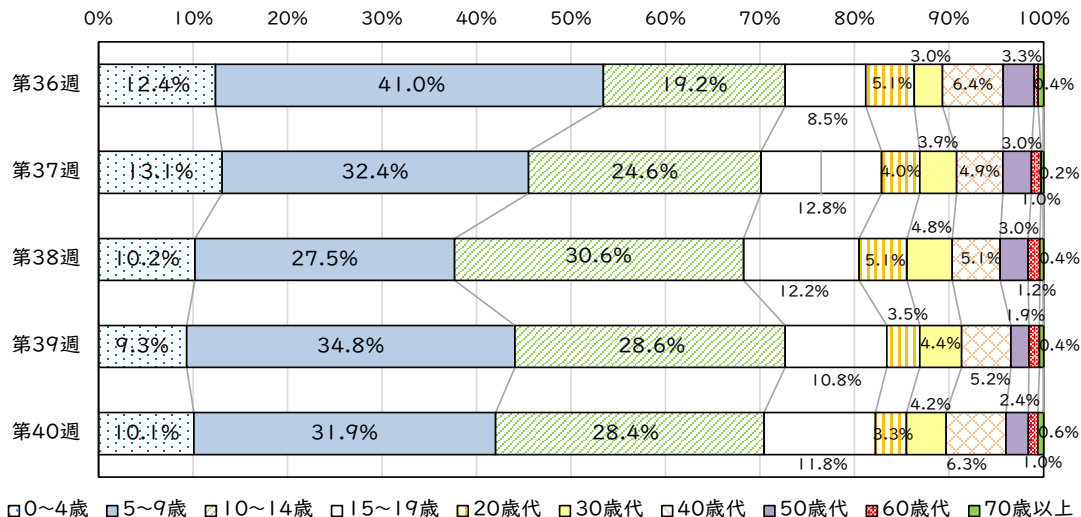
流行注意報解除【定点あたり10.00未満】

第11週(2023年3月13日~3月19日)

【年齢層別集計】

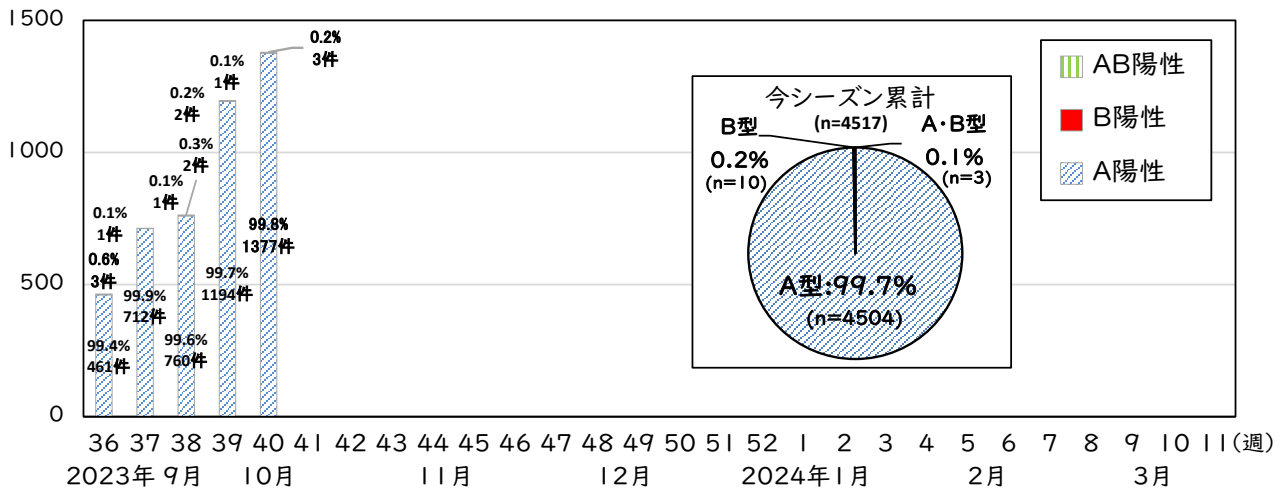
第40週の患者年齢構成は、10歳未満が42.0%、10歳から15歳未満が28.4%となっており、15歳未満が全体の70.4%を占めています。

年齢層別患者割合



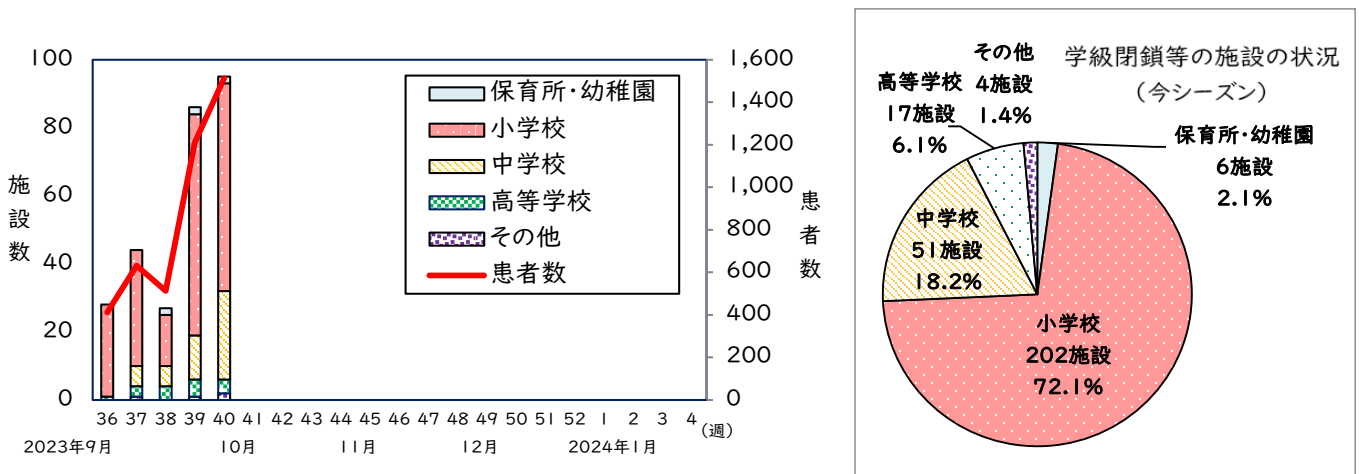
【迅速キット結果】

第40週の迅速キットの結果は、A型99.8%、B型0.2%で、A型がほとんどを占めています。今シーズン累計は、A型99.7%、B型0.2%、A・B型ともに陽性0.1%となっています。



【市内学級閉鎖等状況】

第40週は、95施設の報告（保育所・幼稚園2施設、小学校61施設、中学校26施設、高等学校4施設、その他2施設）があり、報告された患者数は1,513人でした。今シーズンの累計では、第40週までに280施設の報告があり、報告された患者数は延べ4,278人となっています。報告された施設の割合は、保育所・幼稚園2.1%、小学校72.1%、中学校18.2%、高等学校6.1%、その他1.4%となっています。



※ 小数点以下第2位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。

\* 参考リンク

- 近隣自治体の流行状況 ○[神奈川県](#) ○[川崎市](#) ○[東京都](#)
- 全国の流行状況 ○[国立感染症研究所](#)

【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237  
 横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2463